

企業の検定試験 導入事例

【社会人常識マナー検定試験】



株式会社ミライプロジェクト本社

株式会社ミライプロジェクト 様

社会人常識マナー検定を社内教育として活用いただいている、株式会社ミライプロジェクト 事業推進部の大久保様に、検定試験を導入したいきさつや企業内で取り組むメリットなどについてお伺いしました。

社内教育の一環として「社会人常識マナー検定試験」を導入。

見えにくい社員のサービスレベルを数値化し、より良いサービスに

繋げていくことができます。

貴社の事業についてご紹介ください。

弊社は社会人向けの介護・美容専門のスクールを運営しております。卒業生は“ケアビューティスト”として全国の介護施設やグループホームなど、高齢者の方や障害のある方などに総合的な美容のサービスをお届けしています。そして、ご就業の支援まで一貫してお手伝いさせていただいています。

「社会人常識マナー検定」を知ったきっかけは何でしょうか？

社内教育のため、ネットでいくつか検定を調べており、その際に「ビジネスマナー、検定」などと検索ワードを入れて出てきたいくつかの検定の中から、総合的に学べる「社会人常識マナー検定」を選びました。

社内教育として導入いただいているとのことですが、導入時期と受験した人数を教えてください。

導入は2024年6月頃で、受験対象は正社員、契約社員です。ネット試験での受験を各自してもらっており、これまでに50名くらいが受験しています。これからも、受験者はどんどん増えていく予定です。

受験までの勉強はどうされていますか？

受験期間を決め、その期間内にそれぞれ申し込んで受験しています。勉強も、過去問やテキストを用いて各自で勉強しています。中には不合格になる人もいるため、私のほうで参考になりそうなことを自社の Web 掲示板であるインフォメーションで公開しています。

受験料は法人負担でしょうか。

はい。会社で受験料を支援しており、受験結果をプリントしたものや写真などを提出する形式としています。

受験された方の感想などありましたらお聞かせください。

現在弊社の従業員は「社会人常識マナー検定」2級に挑戦してもらっていますが、結構難しかったという意見を聞きます。私自身3級と2級を受けましたが、3級だとビジネスの問題以外に、一般常識問題として地域の名物などの問題が入っているので、当社ではビジネス寄りの内容である2級を導入しています。3級の難易度でビジネスに特化した内容があると、さらに社員のレベルに合わせて受験しやすくなるのでは、という印象があります。

社員の方にとっての検定受験のメリットは何にあるとお考えでしょうか？

具体的なところだと、お客様を案内して階段を上る順番だったり、日々の仕事の中で自分が間違っていた、正しかったということを経験して、即仕事に活かすことができるのは大きなメリットだと思います。知っているつもりのマナーや常識を再認識し、間違っていなかった、と知ることによって自信にもつながっているのではないのでしょうか。

社内教育で検定試験を導入することのメリットは何にあるとお考えでしょうか？

社員がどれぐらいのサービスレベルにあるのかですとか、社会常識をどれぐらい持っているのかという見えにくいところを数値化して見ることができるのは検定導入のメリットだと思います。そのデータから、「あの部署にはこういう部分の教育が必要そうだな」など、部署ごとの偏りを調べるためにも使えます。それがわかることで、今後どういうふうに入材を活かしていけば、部署ごとのサービスのグレードを上げていけるか、ということに結びつけていけると考えています。

(2025年1月インタビュー)